

野外活動 1日目

9月10日（木）、11日（金）岩手県立野外活動センター（通称：ひろたハマラインパーク）で5年生が1泊2日の野外活動を実施しました。

1日目、午前の活動は「ジェルキャンドル作り」でした。6色の砂を耐熱グラスに入れ、想像力を働かせてビー玉や貝殻などを装飾し、ジェルを流し込んで完成させます。子供たちの作品は、どれも自然素材のよさを生かした独創的なすばらしいものとなりました。



午後は、火起こし体験と野外炊事（カレー作り）を行いました。火起こし体験では、マイギリ式のセットを使ってチャレンジしました。火種の基となる黒い粉を作り、煙も出ましたが、雨上がりで湿度が高かったこともあり、残念ながら火を起こすことはできませんでした。しかし、昔の人々が苦勞して火起こしをしていたこと、普段何気なく手軽にお湯を温めたりガスコンロなどで調理できたりしていることが、とてもありがたいことだと気付くことができました。

野外炊事では、湿った薪のため、かまどで十分な火力を起こすまで苦勞しましたが、野菜を小さめに切って煮込んだこともあり、どの班のカレーも上手にできあがりしました。お米を飯ごうで炊きましたが、飯ごうの蓋に伝わる振動を聞き分け、どの班も一粒ふっくらとカレーにぴったりのごはんを炊き上げることができました。友達と協力して作ったカレーライスにみんな「おいしい！」と大満足でした。

夜は、キャンプファイヤーを行いました。聖なる火を迎える第1部では、火の神から「友情、努力、責任、感謝」の聖なる火が火の子に分けられ、近いの言葉を述べた後、組んだ井桁に点火しました。分火した火が火の子のたいまつにうまくつかなかった時、周りの火の子がさっと駆け寄り助ける姿に、困った時に助け合うことができる子供たちの



の優しさを感じました。楽しく友情を深める第2部では、応援に駆けつけた先生方を交えて、元気いっぱいダンスで踊り盛り上がりました。火を送る第3部では、これまでの自分を振り返るとともに、未来を思い描き、新たな目標や決意を心の中で唱えました。